

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
平成 30 年 5 月 1 日	
東京都中央区日本橋小網町 17 番 2	
号	
愛知県知事殿	協同乳業株式会社 代表取締役 尾崎 玲
提出者	
住所	愛知県犬山市字新川 1-10
氏名	協同乳業株式会社東海工場
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 工場長 竹内武臣	
電話番号 0568-69-0873	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	協同乳業株式会社 東海工場
事業場の所在地	愛知県犬山市字新川 1-10
計画期間	平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09 食料品製造業
②事業の規模	生産高 1,075,741 万円
③従業員数	74 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	製造工程から排出→中間処理（脱水）→収集運搬→中間処理→再資源化 (堆肥化 製造工程から排出→収集運搬→中間処理→再資源化（堆肥化・飼料化・原料化）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社生産技術部環境対策室



工場長



施設課長



施設員



省エネ委員会



従業員

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状

【前年度（平成 29 年度）実績】

産業廃棄物の種類

別紙のとおり

排出 量

t

t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

別紙のとおり

排出 量

t

t

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック・焼却物のマテリアルリサイクル化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック・焼却物のマテリアルリサイクル化

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	3, 623 t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥削減用植剤の導入 汚泥含水率の低減 硝化槽 2 の循環を停止し、返送汚泥を自己硝化（ 15 日で入替）		
②計画	【目標】		

		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	3, 261 t	t
		(今後実施する予定の取組) 継続的に汚泥削減用植剤の導入で汚泥を削減する		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託 量	t	t
	優良認定処理業者へ の 処理委託 量	t	t

			再生利用業者への 処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託 量	t	t
		(これまでに実施した取組)			

(第 5 面)

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
		全処理委託 量	t	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託 量	t	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	t	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への 処理委託 量	t	t	t
		(今後実施する予定の取組)			

※事務処理欄	
--------	--

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（排水処理汚泥）	動植物性残さ
	排出量	4,026 t	181 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥削減用腐植剤の導入 排水処理の安定稼働・管理 製造工程での歩留り向上 廃棄物削減の社内目標の設定		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（排水処理汚泥）	動植物性残さ
	排出量	3,623 t	181 t
	(今後実施する予定の取組) 更なる歩留り向上（1 t／月） 排水処理の安定稼働・管理 汚泥削減用腐植剤の導入 製品ロス低減 出荷許容日オーバー品の削減		

別紙 2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	燃え殻
	排出 量	51 t	6 t
	(これまでに実施した取組) 分別による有価物化 製造工程での歩留り向上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	燃え殻
	排出 量	51 t	9 t
	(今後実施する予定の取組) 製品ロス低減 製造工程での歩留り向上		

--	--	--

別紙 3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥 （ 排 水 処 理 汚 泥 ）	動植物性残さ
	全処理委託 量	403 t	181 t
	優良認定処理業者への 処理委託 量	403 t	181 t
	再生利用業者への 処理委託 量	403 t	181 t
	認定熱回収業者への 処理委託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） リサイクルの推進 汚泥含水率の低減 有価物化の推進		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚 泥 （ 排 水 処 理 汚 泥）	動植物性残さ
		全処理委託 量	363 t	181 t
		優良認定処理業者への処 理委託 量	363 t	181 t
		再生利用業者への 処理委託 量	363 t	181 t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組)		
		更なるリサイクル化の推進 可能な限り優良認定処理業者に委託する 有価物化の推進		

別紙 4

産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
1 現状	【前年度（ 29 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	燃え殻	
	全処理委託 量	51 t	6 t	
	優良認定処理業者へ の 処理委託 量	51 t	6 t	
	再生利用業者へ の 処理委託 量	51 t	6 t	
	認定熱回収業者へ の処理委託 量	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者	0 t	0 t	

			への処理委託 量		
		(これまでに実施した取組) リサイクルの推進			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	燃え殻	
		全処理委託 量	50 t	9 t	
		優良認定処理業者への処 理委託 量	50 t	9 t	
		再生利用業者への 処理委託 量	50 t	9 t	
		認定熱回収業者への 処理委託 量	0 t	0 t	
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	0 t	0 t	
		(今後実施する予定の取組) 更なるリサイクル化の推進			